

# すぎなみ大人“熟”してる？

J u k u s i t e r u ? T I M E S ' 1 2

平成24年6月15日発行

発刊元：塾塾カンパニー（事務局）

東京都杉並区梅里 1-22-32(社会教育センター内) TEL 3317 - 6621 FAX 3317 - 6620

VOL.2

## 昼コース「『だがしや楽校』を開こう！」開講！！

6月4日  
昼コース

一緒に語り合い、  
一緒に学びあいましょう



6月4日(月)午前10時、24年度大人塾昼コースが開講した。この日、午前中にもかかわらず、横浜市、下野市、上田市、世田谷区、野村 BM からの見学者や文部科学省・財務省の方々の見学もあった。相互の学び合い。これこそ大人の学校の授業参観！

このような他地域とのつながりを踏まえ、松田さんは、勤めている東北芸術工科大学でのお話や、松田さんがかかわっているおしゃべり手芸の会のお話など、受講生同士の経験値をモノが媒介となって、自分と、自分以外の人にも影響を与えられる講座としていきたい、と話された。その中の、「自分のできることと何かをコラボしてやっていく、そしてこの講座内だけで完結させない。」という言葉には、これから行われる講座が社会とつながる、そのヒントが込められているのではないだろうか。

この日は松田さんからのお土産があった。山ブドウの飴、ミルク飴、ニットタイ・ベスト。。。その中で、ニットベストの製作話は興味深かった。始めは一色だったものが、松田さんの「もっと遊んでみませんか？」という言葉によって、しましまになり、ランダム柄になりと変化していった、というお話だった。これを、「大人の学習による変容」だと松田さんは呼んでいたが、まさしくその通りだろう。その後に行われたすぎなみカルタ取りでも、カルタの絵を見ながら、「杉並にもこんなところあったんだ！」、「ここは昔ね・・・」という会話が交わされていた。これも小さな学習ではないだろうか。カルタ取りで互いに打ち解けあった後は、参加動機や趣味・興味関心等の人に「みせ」られるものを自己紹介。これから、「私はだがしや楽校をこう思う」、という受講生による5分間ミニ講座を毎回行っていく。双方向の学習がどんな化学反応を起こすのだろうか。(記事：坂本)



講座の様子(写真左;松田道雄さん)



ミニ講義用黒板ノートの板書

ヒト・モノ・コトを  
もう一步!



ここでは、講座の話題で登場したヒト・モノ・コトについて、もう一步紹介し、これからのヒントにしようというコーナーです。第1回目の今回は、松田さんの話されていた、「山ぶどう飴」。原材料は、水飴と山ぶどうの原液のみ。しっかりとした味があり、おいしいのですが、実はこの山ぶどう、何度も大雪を被っているのです。そのたびに、農園の工藤さんが雪下ろしをしているのですが、上からつつくとドサッと落ちる感覚が楽しいのだとか。「雪は害を与えるけど、素直なものだ」、と。マイナスも楽しんでしまうことが工夫の原点かもしれませんね。



## 自分が考え続けるための きっかけ、仲間、行動するチカラを見つけることがゴール！

### ガイダンスを実施

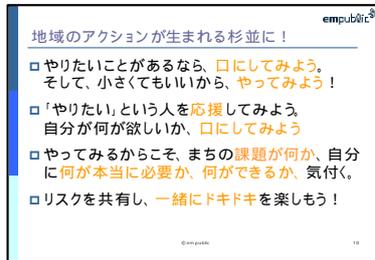
33名の受講生が集い、大人塾夜コースがいよいよスタート！そして学習支援者の広石さんが登場。受講生は決められた席に着き、ちょっと緊張気味？である。初回のメニューは自己紹介と講座のガイダンス、そして1年間で目指すものを広石さんからお話しいただいた。

ロンドンのヘルスセンターや「生活バスよっかいち」の例をあげて、「世の中で必要とされていること、出来ることをつなぐこと。特別なことでなく世の中にいくらでもあることをつないでいくことで、新たな価値を見つけていくことが地域へのアクションには大事です。」と広石さん。まず、自分のやりたいことを見つけてみる。それは自分がひとりでするのでなく、仲間を見つける、周りで使えるものを見つける、それをつないでいく。そんな視点と力を養っていくことが夜コースの目的である。

### 自己紹介の役割は、お互いを知るだけ？

前半には「10分間総当り自己紹介ワークショップ」を行い、これから数回、受講生が全員と自己紹介ができるようにした。ここでも広石さんから「自分のことは1・2分では全部話しかれません。何かひとつでも心に残るキーワードをあげ、覚えてもらうのがコミュニケーションのコツです。」とのアドバイスが。「たとえば、自己紹介のポイントを学び、別の場でうまく自己紹介ができればそこで新たな関係性が作れます。つまりこの講座はクローズされているのではなく、外と常に繋がっていることを認識してくださいね」。なるほど。前述した大きな目標だけでなく、講座を通して自分の中で使えることをいつも学んでいこう、ということだ。自己紹介も楽しく、かつ真剣に！そして今回はどんな人に会えるかな？！これから始まる新しい出会いや学びへの期待が高まり、ドキドキワクワクのスタートであった。(記事：湊)

自己紹介風景



広石さん

若い人、同年齢、年上の人。色々な人に出会えてとても良かった。飲み会もあるということで楽しみです。杉並区がこれだけパワーをかけてクオリティの高いものを提供してくださることに感謝します。少しでも吸収して自分なりにアンテナを張り、楽しく参加、杉並区に貢献できるように頑張ります！ 今日の後半のお話を一時間近く聞いただけはちょっとしんどかったです、今後もこのパターンでしょうか。 **いえいえ、今後は皆さんが考えて、話し合っ、書き込むというワークショップスタイルが中心です。ご期待下さい！** 期待した以上に楽しい塾でした。色々な年代の方とお話できるのも大きな財産になるなと思いました。仕事を投げ打っても通いたいです。ソーシャルアクションについて内容は勉強になったが、早口すぎ半分くらい聞き取れなかったのが残念でした。 **はい！広石さん、ヨロシクお願いします。** 参加者の意見を自然に出せる環境が場作りで大切という考え方に非常に同感です。とても楽しく感じました。自分では何が出来るか少し不安に感じました。 **大丈夫です、新しいことに気付き、そこから出来ることを見つけていくのが大人塾、ゆっくりいきましょう！** (アンケートより抜粋/回答)

参加者の声  
だ！全員載  
せられずに  
すまん！



## 大人塾を支える「おとな」たち

大人塾を支える個性ゆたかな？

事務局スタッフのご紹介！

### ☀️ 中曽根 聡

社会教育を仕事に選んで24年。昨年からは学校支援業務などにも関わっています。時々事務局として大人塾運営や飲み会に顔を出しますので、区民・職員の立場をこえて、ワイワイ発想を磨き合ひましょう。

### ☀️ 松坂 哲夫

在住・在勤等、通算杉並歴四十数年？小学生の頃は、善福寺川の水門でザリガニを釣り、防空壕跡を探検し、妙法寺の縁日では、門扉に乗って遊んでいました。まだまだ知らない杉並の魅力を皆さんと発見したいと思います。

### ☀️ 湊 真澄

長年従事し、大人塾が身体の一部になってきているような感じでコワイです。実は結構病弱で、病気のスーパーマーケットを名のっていますが、外見は妙に明るいです。楽しい一年にしていきましょう！あんこの会メンバー募集中！

### ☀️ 坂本 一馬

杉並歴まだ2ヶ月。熊本県出身の平成生まれ。世の中の大半がまだ知らないことばかりの赤ん坊です。皆さんとお話を通して、人間へと成長していきますので、よろしく願いいたします。

☐すぎなみ大人”塾”してる？の発行にあたって☐

この新聞は事務局スタッフ松坂・坂本・湊の独断と偏見と多少の事実に基づき作成しております。